

木曽地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：10月2日（日）14時～16時

参加者数：会場：60名、オンライン：0名 グループ数：会場：12グループ（A～L）、オンライン：0グループ

分類方法：ラウンド1で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の（）はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (118件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(118件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(100件)
子ども(23件)	<p>(全般:8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの声が聞こえるまち。(A) ・ 子ども・若者の声・あいさつを聞けると元気が出る。(A) ・ 祭りや運動会で子どもが走り回っている。(B) ・ 子どもがいると高齢者も元気になる。(C) ・ 学童クラブ、あいさつ、たくさん遊べる⇒ドッチボール(D) ・ 孫の成長が楽しい・生きがい。(H) ・ 友達と遊ぶこと(ゲーム)。(H) ・ 子ども会の活用。(L) 	子ども(16件)	<p>(全般:0件)</p>	子ども(10件)	<p>(全般:0件)</p>
	<p>(遊び場・居場所:8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが遊べてつながれる場所がある。(A) ・ 開かれた学校。(B) ・ 木曽子どもクラブでは、工夫しながら活動してきた。(E) ・ 遊べる場所について:児童館や室内の遊べるところを増やしてほしい。(H) ・ 遊べる場所について:公園にゴミ箱を設置してほしい。(H) ・ 遊べる場所について:ベンチを増やしてほしい。(H) ・ 遊べる場所について:室内遊園地をつくってほしい。(H) ・ 遊べる場所について:アスレチックをつくってほしい。(H) 		<p>(遊び場・居場所:3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園でボール遊びができる設備を整備して子どもが楽しく遊べると良い。(A) ・ 公園はボール遊びや花火など制限が厳しい。子どもクラブなど自由に遊べる場所。(E) ・ 子どもが元気なまち、最近の公園のルール緩和(ボールの使用など)。(I) 		<p>(遊び場・居場所:5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔、子どもは外で遊んでいた。校庭をもっと利用できるようにしたい。自然の中で子どもは自由に遊ぶ。(F) ・ 大人も外で遊びたい。竹を使った遊び、イベント(竹細工・竹ランプづくりなど)。(F) ・ 公園(自由に集まれる場所に!)有効に使えるように。凧をあげられる広い公園がない。(H) ・ 子どもたちは暑くて公園に行けない!(H) ・ 木がいっぱい生えている公園。(H)
	<p>(イベント:4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが様々なことを体験できる。(C) ・ 3年ぶりの夢プロ開催。和太鼓やダンスの発表があり、子どもたちにとって憧れの対象であるお兄さんお姉さんと交流できる機会なので、開催できる楽しみがありつつも、また応募してくれるか、消毒などどこまで対策すればよいか不安。(E) ・ 学校で全学年同時にいられるのが3年ぶり。イベントもやっとなできるといふ思いと、開催する立場としては実は心配。イベントの喫茶スペースも食事なし・ディスタンス・消毒など、すごく配慮や工夫をした。(E) ・ 子どもが集まれる機会がほしい(例:芋掘りなどの地域イベント)→親が発信するなど(G) 		<p>(イベント:5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域(町内会・自治会)から子ども会に依頼して企画する。(A) ・ 小・中学生のためにイベントをする。(C) ・ 子どもクラブで自然や伝統に触れる企画。(D) ・ 子どもたちのストレス発散の場。高校生の和太鼓協力。今までやっていたことを見直しつつ、縮小しつつやれる。体育館での人数制限やイベント回数など工夫しながら、できる協力の中でもう一回やってみたい。(E) ・ 地区ごとに子どもたちのテンションが上がる場所・イベントをつくる。(E) 		<p>(イベント:1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール×ゴミ拾い⇒子ども参加企画する(D)
	<p>(交流・つながり:3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちのイベントを通して地域と交流(D) ・ 子どもたちとのあいさつ(F) ・ 子どもたちの通学中の声に元気をもらう。親との交流ができるとうい。会えないので。(I) ・ 子どもとのふれあいのあるまち。(O) 		<p>(交流・つながり:5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな年齢の子ども同士で遊ぶと上下関係を学んでいた。(B) ・ 高齢者が子どもに教える会・文化的催し⇒でも、交通費も出せない。(C) ・ 子どもクラブで自然や伝統に触れる企画⇒卒業した後も集まって話し聞く場づくり。(D) ・ 子どもたちが集まって、大人たちも集まる。(E) ・ 昔ながらの遊びをする機会、子どもたちと一緒に。(L) 		<p>(交流・つながり:3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と連携して生徒たち・保護者たちを地域に巻き込む接点づくり。(D) ・ 学童クラブを媒介として、地域とのつながりを生み出す。(D) ・ 子どもの意見は柔軟、年配の方と子どもをつなぐ場・交流がない。こもりがちになると心がネガティブに、子どもの力で心も前向きに!(E)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (118件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(118件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(100件)
子ども(23件・ 続き)	(意見表明・参加:0件)	子ども(16件・ 続き)	(意見表明・参加:3件) ・中学生に役割与えて地域とのつながりをつくる。(D) ・対策はしていくにしてもコロナで制限しすぎじゃないか？そもそもイベントをやるかという状況だから、子どもたちの気持ちを大事にして、自由に考える部分もあってもいいのではないか。(E) ・児童館を活用して、子どもたちの自己実現の場をつくりたい。(E)	子ども(10件・ 続き)	(意見表明・参加:1件) ・学生主体のイベントを提案してもらおう(負担にならないレベル)。(G)
お祭り・ イベント (20件)	・地域の商店等による物産展を開きつながる、農家、ジャンルを問わない。(A) ・イベントがある(芸術作品の発表)。(B) ・スタンプラリー。(B) ・スタンプラリーを今日初めて知った、子供用のパンフ欲しい(B) ・スタンプラリーは地域で回覧できる。資料欲しい。(B) ・誰でも参加できるイベントが多くあるまち。(C) ・出かける×おしゃべり×食べる。(D) ・出かける×おしゃべり×食べる⇒ファッションショー。みんな楽しく元気。おしゃべり=元気の素(D) ・草野球大会⇒競い合う=ワクワクの素(D) ・子どもたちにとってワクワクできることが大事⇒アフターコロナの新しいスタイルでイベントなど再開したい。(E) ・イベントを企画。いろいろな人とつくる。いろいろな世代と。(F) ・みんなが楽しめるイベントがほしい。(G) ・今回のイベントのような集まりはよい。子供がかかわる、からまれる場。(G) ・制限なく、表現できる場→コロナ禍で大切(G) ・ゴミ拾いの大会など開催。(I) ・地域の交流がなくなってきている。イベントなどができない。(J) ・毎日ワクワクしなくてもイベントがあれば。(J) ・にぎやかな場所、祭り、行事。(K) ・フリーマーケット。(K) ・新しいイベントの開催。(L)	お祭り・ イベント (16件)	・芋掘り、運動会の実施←地域の方が参加(A) ・顔見知りになっていくために、定期的・継続的な交流会を開く。(A) ・イベントに参加する。(B) ・イベントでトルティーヤを売る。(B) ・誰でも参加できるイベント・祭り。(C) ・地区の運動会(小学生もダンス・屋台も出る)。にぎわいが戻ってくるという。(C) ・3年ぶりのお祭りを、対策や工夫をしながら開催した結果、これまでで一番のすごく良い雰囲気できた。大人が制限しすぎ？もっと子どもたちや地域の方に寄り添えることがあると感じた。(E) ・校庭を借りて水かけ祭りを夏休みにやりたい。(E) ・[現状]自治会、PTAを嫌がる人がいる一方、情報は欲しい人は多い、人の善意に頼る→事業体に頼る？20・30代が関わるものを。芋掘りなど(ごほうび?)イベントで引っ張り出す。(G) ・コロナでお祭りやイベントが中止された→イベントの復活。特に声出しの必要がある。(G) ・お祭り。(H) ・習い事の発表の場・イベント。(H) ・交流の企画。(H) ・自然を通して高齢者の方と子どもたちの町のイベントをひらく。(I) ・地域のイベントへの若者の参加。(I) ・一年中行事ができる。(K)	お祭り・ イベント (5件)	・地域でこんなイベントやりたいというリクエスト出してほしい。(B) ・「まちとも」と「まちトレ」のコラボ、一緒にやってみる。(C) ・ハロウィンでゴミ拾い、楽しみがあるといい。(C) ・お祭りを再開してほしい(お祭りでの交流があったが今はない)。(H) ・障がい者施設の人たち含めてイベント運営。(L)
交流・つながり づくり (13件)	・地域の方が、児童館のボランティア・運営に関わってくれて、地域の人と子どもが日常的につながれるまち。(A) ・まちトレはコロナ禍で集まるのが難しい中、少人数でも活動を続けてきたことで昔から住む人と新しく住む人とのつながりや笑顔がたくさん増えた⇒手伝いたいという声やごあいさつも出てきた(E) ・新しく住む方とずっと住む方がいかに交流するか、場づくり。(E) ・いろいろな年齢層と集まる。(F) ・交流したい。声をかけたい。(F) ・若い人(20代、30代)ががんばっている。世代をこえてイベントなどで交流できる。(G) ・人は顔を合わせられることが大切→コロナの悪影響(G) ・犬と散歩に行き、会えた人と話ができる。(H) ・多世代交流。(J) ・しびりが無く、自分の意志でラジオ体操に参加して高齢者同士交流している。(J) ・地域の商店のつながり。(L) ・新しく来た人との接点を持つ。(L) ・色々な世代間での交流。(L)	交流・つながり づくり (10件)	・地域の人同士のつながり・交流の場をまず作る(お祭り・イベント・町内会・自治会)。(A) ・ストップしていた地域と学童の交流(ご家族も来てもらう)の再開。(A) ・核家族にならない地域のつながり作る。(B) ・広場に多世代が集まる。(C) ・花だん×花のワークショップ⇒多世代が関わる場と時間(D) ・地域のみんな⇒お友達・ご家族・ご近所さんからはじめてみたらどうか。(E) ・公園で交流ができるように。(H) ・待ち遠しいを起こさせない。キッチンカーなどで身近に来てもらう(広場、公園など)。行くではなく来てもらう。みんなが集まることで話の輪が広がる。(J) ・町内の中での顔合わせする⇒共通の楽しみができる(K) ・子どもだけでなく大人同士のつながりを持つ→子どものイベント周知につながる。(L)	交流・つながり づくり (11件)	・高齢者と若い人が一緒にダンス、高齢者のリハビリになる。(C) ・木曾住宅は自治会に入っている人が半分。交流が難しい。(C) ・情報発信や情報をとる仕組みが必要。コミュニティづくり、地域の場があるといい。教育センターには入れないが、借りられるようにして、対話できる場としたたい。こういう意見交換をまたやりたい。(F) ・木曾交差点で花づくりをしている。花を通して人と交流している。「The Road 町田人」に載っている。(F) ・いろいろな人に声をかける。小さいところから始めていく。(F) ・地域で交流できる場づくり。障がいがある人も一緒に参加できること。理解をすすめていく。(F) ・イベントなどに参加して交流する。(F) ・地域と関わる時間を増やす。(L) ・自分から関わる一歩を踏み出す。(L) ・ボランティアを通じた世代交流→情報共有必須(L) ・顔を見合わせた交流をつくる。(L)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (118件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(118件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(100件)
あいさつ・ 声かけ (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつが互いに来るまち→さらに進んで継承されていく(A) ・顔見知りが多く、あいさつできる。(C) ・あいさつ交せる。パラパラ体操⇒お茶⇒笑顔(D) ・外であいさつができる。子どもも。(F) ・若い人が子連れで来てあいさつする。近所づきあいができる。(F) ・あいさつがしやすい雰囲気、一歩踏みこんだ関係がほしい。(G) ・あいさつはやはり大事、通学路の見守りなどは気持ちいい。(G) ・基礎資料のその他 寄せられた意見に礼儀のなっているまちにしたいと記載がある(あいさつ・助け合い)。(H) ・あいさつをする／される(L) ・気軽に声をかけ合える。(L) ・声をかけ合う、イベントの実施。(L) 	あいさつ・ 声かけ (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ(ハロウィンイベント)学童。(A) ・あいさつがしやすい環境づくり。(A) ・一方で、あいさつが知らない人にできない所もある。(A) ・こちらからあいさつすると子どももあいさつする。(F) ・特別なことではなくごみを拾うとかあいさつをすることが大事。(F) ・あいさつをしてくれる子どもが多い。(H) ・ここで会えたので今後はあいさつするよ。(H) ・防犯とコミュニケーションとの区別。(L) ・地域の人とのあいさつ。(L) ・回覧板を回すときなど小さい話す機会を増やす。(L) ・知らない人から知っている人に変える機会→防犯にもつながる(L) 	あいさつ・ 声かけ (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の人への声かけからつながりへと発展できることをしたい。(G) ・あいさつをする。(H) ・あいさつを増やす・・・まずは学校、なれたら地域の人たちなどに。(I)
まちのイメージ (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故とか悲しいことがないまち。(B) ・子どもがたくさんいるまち。(C) ・子どもが元気で遊んでいる街。(D) ・新しい発見が自然にできる。発見⇒経験(D) ・年を重ねても働ける、子どもを育ててきた方が新米ママさんを訪問して応援する、垣根のないまち。(E) ・基礎資料の人へのアンケートに Q 今の木曾に満足しているか？:A:満足している 21人(33.9%)、やや満足している 32人(51.6%)、やや満足していない 7人(11.3%)満足していない 2人(3.2%)の記載がある。(H) ・にぎやかなまちにしたい。(H) ・水にさそわれて皆で遊べるまち・・・憩いの場として親しめる場所にしたい。(I) 	まちのイメージ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方や身体障がい者など全員が共存できるまち。(I) ・地域活動などやりがいを持ってできるまち。(I) 	まちのイメージ (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしいまち (あいさつなど)。(L)
拠点・居場所 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・出かける×おしゃべり×食べる⇒オジサン食堂(D) ・楽しい公園がたくさんある。子どもの元気な声。(F) ・出かけていく場所がある。お金が使えないので、自然のある場所に行く。(F) ・自然があったり、ボールあそびができたり、いろいろバリエーションがある公園があるといい。朝のラジオ体操での交流がいい。多世代が集まれる公園。(F) ・現状、町田には、広々したものがない。交流する場がない。出会いがないーその逆を考えたら(G) ・公園の制限。(K) 	拠点・居場所 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが集まる場所をつくる お花が綺麗な場所、キッチンカー、こいのぼり。(E) ・集まれる場所があるといい、雨でも。(F) ・100歳の父はデイサービスに行きたがらない。気軽に行ける場所があるといい。(F) ・当事者の気持ちとしては、学校(放課後、土・日)を有効的に使ってほしい。(G) ・人が集まれる場所があるといい。(H) ・使える公園に。ドッチボール・遊具。(H) ・学校の空き施設を公園にしてほしい。(H) ・高齢者も自由に歩くこと⇔場所がない。(H) ・人と会う。趣味を児童館で。高齢者も一緒に。(H) ・施設前とかのスペースを開放して交流できる場をつくる。(L) 	拠点・居場所 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動に、児童館の持っているもの、場で協力はできる。(A) ・人が集まれる場所が、木曾は身近にない。教育センターがそうなると良い。(A) ・若いご家族が外に出る場所がない、ポスターを貼るか？(E) ・いつ行っても話ができたりする話せる場、広場があればよい。決まり事が多くて開催しづらい。(E) ・竹林はいっぱいある。自由には入れないが交流の場にしたい。(F) ・学校を利用したいが手続きが色々あって二の足を踏む、悩ましい。(G) ・男の人がかわいそう、男の人が集まる場所の発掘は。(G) ・集まる男の人は高齢者が多い。(G) ・気軽に遊びに行ける場所。(H) ・先生の負担を増やさず、学校の中で楽しむ。(I) ・イベントができるスペースの把握。(L)
まちの機能 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀やドラッグストアが多いが、生きていて楽しくなる店が増えるといい。事業者を呼び込む仕組みがあるといい。(F) ・基礎資料のその他 寄せられた意見にお店を増やしてほしいと記載がある。(H) ・基礎資料のその他 寄せられた意見に道路や建物の整備をしてほしいと記載がある。(H) ・ポイ捨ての多い公園にゴミ箱の設置。(I) 	まちの機能 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園にゴミ箱を設置したい。ポイ捨てする人を減らせる。(E) 	まちの機能 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人(働いている世代)にも暮らしやすい交通。(E) ・まちの暗い場所に街灯設置。(I)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (118件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(118件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(100件)
活動・活動の 担い手 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひらかれた趣味活動に参加できる。(C) ・ 自主グループの活動への支援の基準が使いづらい。縛りがある。地域でまとまっていないと使えない。(F) ・ 今までやってこなかった新しいことに挑戦する。(J) ・ 研修を通して学んだことを地域で生かす。(L) 	活動・活動の 担い手 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域(町内会・自治会)の連絡先がわからない。(A) ・ お祭り・イベント大事。若い人に参加、担い手をしてもらうのが課題。(C) ・ 地域の担い手、若い人の参加。(C) ・ 若い人を助けること・支援できる、世代に参加してもらおう。(C) ・ 大学生を担い手に。(C) ・ 子どものためなら活動したい人は多い。(C) ・ 活動のリーダーがいない。(C) ・ 企業ともタイアップ(商品の提供をふくめて)。(G) ・ 高校生(町田総合高校)の活用⇒マッチングする試み、みこしの担ぎ手になる、訴えてほしい、声をかけて！(G) ・ 高校生(町田総合高校)の活用⇒教科の中である、初めての試み。学生も必要とされていると感じる、学生(15歳)が自分ゴトを感じる、地域貢献になる？(G) ・ やらないのが普通で、踏み出すのがたいへん。一歩が出ない。何かあったら心配。(H) ・ 活動が制限されている。(H) 	活動・活動の 担い手 (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント企画・運営の担い手が大事、でも若い世代は出てこない←サポートする方法必要。(A) ・ 桜美林大学と連携して活動する。(C) ・ 地域活動への参加方法がわかるといい。(C) ・ いろいろな社会資源を組み合わせる社会課題解決の選択肢を増やす⇒キッチンカーの出前×コミュニケーション⇒見守り(D) ・ 自治会のあり方も見直すべき。世代交代・次の担い手をどのように。(E) ・ 地元で貢献したい事業者のマッチング、交流につなげる。(F) ・ 小さなことからできることも大切。(G) ・ 上の世代がやってたことを引き継ぐ、復活させる。(L)
自然 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然がある。鳥の声。(F) ・ 里山を歩く。元気な高齢者にも支援を。街中で座れるところがあるといい。(F) ・ きれいなもの、花。(K) 	自然 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花を木曽地区全体に。(K) 	自然 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花がたくさんあるところ。(K)
子育て・教育 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心・安全に子育てや教育ができるまち⇒子どもが増える(C) ・ 男性に子育てを教えることができる。(C) 	子育て・教育 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祖父母が送り迎えしてくれる。(B) ・ 夏休みに祖父母宅にお泊まり。(B) ・ 子どもに夢を与える教育環境。(L) 	子育て・教育 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども食堂やフードバンクで若い家族(親)、ひとり親家庭の支援と、話す場づくりがしたい。支援があるという情報が広がってほしい。(E) ・ 元気な高齢者としてママさんやお子さんの手伝いがしたい！やりたい気持ちがある人はたくさんいると思う。マッチングする、気軽につながれる場があれば、「ちょっと」面倒を見られる。(E) ・ 子どもたちにとっても、おばあちゃんになかなか会えなかつたりするから相乗効果。(E) ・ 地域で子育てできる社会に。子どもを見守る。(F)
見守り・支え 合い・助け合 い(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とのつながりで孤立を防げるまち。(A) ・ 横のつながりがあるまち 高齢者と子どもの助け合い。(C) 	見守り・支え 合い・助け合 い(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康・友達と話せる場がある(ラジオ体操)安否確認になっている。あたり前のことができる環境が大事。(F) ・ 家にいる高齢者が多いので、声かけや外に出るサポートをする。気軽に参加できることがあるといい。(F) ・ 一人暮らしの人が増えているが、自治会で見守る。女性はなじみやすい。男性は閉じこもりやすい。男性への働きかけが必要。(F) 	見守り・支え 合い・助け合 い(1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りする方も高齢になってきている。(E)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (118件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(118件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(100件)
情報発信・共有(2件)	<ul style="list-style-type: none"> デジタル回覧板は良い。(B) 情報がなくて孤立する高齢者がいる。地域のことがわかるようにする。(F) 	情報発信・共有(6件)	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信しやすい、受取りやすい場づくり⇒和太鼓(D) 情報発信しやすい、受取りやすい場づくり⇒町田市に引越した新しい人に届く場づくり(D) 情報発信しやすい、受取りやすい場づくり⇒発信してよいかどうか整理(D) 情報発信しやすい、受取りやすい場づくり⇒市役所絡むとややこしい(D) 情報発信しやすい、受取りやすい場づくり⇒ワンストップで情報が掴めるしくみ(D) 情報発信しやすい、受取りやすい場づくり⇒活動に必要な知識・情報が得られる機会が大切(D) 	情報発信・共有(11件)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の連絡先を一覧にして配ることはできる。(A) 世代で情報入手の媒体がちがう。(C) 信用していい情報を選別するのが難しい。(C) 情報の発信。和太鼓や花壇の活動をまず知ってもらう。行政なども介して発信してもらえると。(E) 知るきっかけをつくって、コミュニティの場づくり。年配の方にも知ってもらう。(E) 町内会・自治会に入っていない年配の方への情報周知・人とのつながりをどうするか。(E) 情報発信する場を増やす。(F) ベッドから動けない人でも楽しめるように、元気な人だけでなく楽しめるように、情報をもっと共有する。(J) 実態と理想が離れ過ぎている。世代のギャップ、団地と戸建ての意識の違い。行政に任せず、NPO や支援センターを頼る。自分達の意識を改革する。(J) 回覧板の復活→読まなきゃならない工夫。(L) SNS を活用した情報の拡散。(L)
活動のしくみ(1件)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体加入率を上げる。(L) 	活動のしくみ(8件)	<ul style="list-style-type: none"> YouTube チャンネルをつくる→そのお金で町田のために何かする。(B) お金・予算の有効活用。(C) コロナだからできないではなく、どうしたらできるかと言う考え方。(C) 地域活動に使えるお金がある。(C) コロナでも動き出せる雰囲気づくり⇒守るべき基準がわかりやすいといい(C) やらないことを選ぶよりは、工夫してやりたい。(E) 集めることを目的としない。集まっている所、すでにあるもの(機会)を活用。(G) 情報交換だけでなく、マッチングする手段が必要、ボランティアに頼るのはダメ。(G) 	活動のしくみ(12件)	<ul style="list-style-type: none"> 従来の方法に捕らわれない新しい仕組み、方法を考える。(A) 子ども会を母体に OB・OG が参加、協力。(A) 子ども会にもサポーター制度を導入してはどうか。(A) 子どもたちのゴミ拾い、ポイント制。(C) 子どもたちのゴミ拾い、ポイント制⇒地域のお店でドリンクもらえる(C) やりたいことがあったら地区協議会に相談する。(C) 高齢者のいきいきポイントを子どもにも。(C) 高齢者のいきいきポイントをすべての人に。(C) ボランティア活動を続ける動機や効用をいろいろ用意する。自己肯定感・承認欲求。(D) コロナでできないではなく、やれることを考えていく。(H) コロナ、病気を配慮したイベントの実施。(L) ボランティアポイント制度の活用。(L)
防災活動(1件)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人まで防災について考えるイベント。(B) 	防災活動(4件)	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップ(デジタル)づくり。(B) 学生とタイアップして防災訓練は？(G) 防災訓練をイベント化する。消火訓練など子育て世代が取り組めるようなものを地域で行う。訓練というよりみんなが楽しめるようなものにする。(J) みんなで連携する。(J) 	防災活動(4件)	<ul style="list-style-type: none"> 起震車で体験。(B) 防災訓練で消火器を子供が訓練する(子育て世代のニーズに合わせる)。(B) 消火器訓練に中高生も参加したくなる。(B) マップづくり(アプリで)、危ないところが見つかる。(H)
その他の活動(8件)	<ul style="list-style-type: none"> ゴミについて、週に1回ぐらいゴミ拾い大会をつくりたい。(H) ゴミについて、ゴミ捨て系のアプリをつくりたい。(H) ゴミについて、境川をきれいにしたい。(H) ゴミについて、看板をつくって注意を呼びかける。(H) 地域で協力してまちはきれいに、建物などではなく自然をきれいにしていく。(I) ゴミのポイ捨てなどを減らす、根岸公園のポイ捨て、おかしなゴミ多い。(I) ポスターなど設置。(I) ゴミ拾いのアプリなど(ポイント制度)。(I) 	その他の活動(8件)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の清掃活動からはじめる。(C) 清掃活動は子どもも、誰でも参加。(C) 週1・2回ゴミ拾い大会をやりたい。地域のみんなでゴミ拾い。(E) 団地内をきれいにする。ゴミ出しのルールを守る。日常が大切。(F) 団地などは体操がやりやすいが、住宅地ではなかなかできない。(F) ラジオ体操の運営は自主的にカンパなどで行っているのだから続けられる。参加者は30人くらい。増えている。(F) 誰も掃除をしないような場所でのゴミ拾いのイベント。(I) ゴミ拾いなどの活動にちょっとした楽しいイベントを練り込む。(L) 	その他の活動(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ゴミをなくす。(H) ゴミ拾いやボランティアなどを続ける。(I) ゴミ拾い。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (118件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(118件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(100件)
その他 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> 親の失敗談・経験談を子どもが聴く⇒楽しい素(D) 元気な高齢者にお金が出る支援。(F) 地元意識は捨てる。(G) お母さんとお出かけ(洋服や買い物)。(H) 野球が大好き(ヤクルト・大谷)。犬も好き。(H) 朝起きてやることある、仕事、地域の仕事など。(I) 毎日健康である当たり前の日常。(J) ハンディキャップを持つ人の生活支援。(J) こいのぼり。(K) 母校と触れ合って若いころを思い出す。(L) 	その他 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> オンラインの活用。(C) 公園にゴミを捨てている人のほとんどが実際は大人。(E) 力仕事などは男性の出番。高齢でも仕事をアルバイト的にやっている男性がいる。(F) 働き続けることも大事。(F) 今日会えた人が元気なことに元気をもらう。(H) 健康でいること。健康長寿。(H) お花だけでなくジャガイモなどを育てる。(K) 	その他 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> スマホ教室。(B) キッチンカーとか来るのが待ち遠しくなるもの。(B) デジタル苦手な人への配慮。(B) 情報弱者は自分の住宅街の満足度が低い。(D) 健康で幸せでいること。(F) 竹ランプは木曾の NPO ひまわりが作っている。認知症の人たちが作業している。(F) 自分で作ったものを食べてもらいたい(今は調理実習ができない)。(H) きれいな場所にはゴミなどを人は捨てないから公園などをきれいにしておく。(I) 著作権や肖像権などを学んでほしい。(I) 登下校する時に危険な物などを落としておかない。(I) 禁止事項を減らす。(I) きれいな所にする事で、汚くしにくい。(K) 高齢の方にスマホの使い方を教える場。(L)

＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること」、「③ あったらいいと思う地域の活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

木曽地区では、3名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

① ワクワクするまち

- ・まず、以前のように、季節ごとのイベントが出来、集まることができるようになる。
- ・子ども達が当たり前ですが希望を持って夢を語れる街。

② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること

- ・私たちのできるボランティア。小さなことから始めてみたら、きっとワクワクする町田になっているはず。
- ・児童福祉施設の子ども達を招待してのクリスマス会を2021年に行いましたが、今年も！
- ・飲食業にも将来の選択肢を持ってもらいたい。調理師学校に行かなくてもシェフになれることなどをお話ししていきたい。

③ あったらいいと思う地域の活動

- ・色々な業種の方が子ども達と身近に接するイベントなどであこがれる存在に大人達になり、子ども達の選択肢を身近な大人達がつくる。
- ・ラジオ体操を行う。
- ・週一回のフレイル予防の町トシを行う。
- ・地域で楽しくお話しができる場が必要。
- ・認知症予防対策。
- ・敬老の日、子どもの日は楽しみの日になるように、地域が活発になると良い。
- ・防災活動（動けない高齢者の把握、消防署との連携）。